

ナチス幼稚園保姆養成所の教案

多田鐵雄

現在學制改革が企圖され論議されてゐるが、その何れを見るも保姆養成に關してはあまり關心を持つてゐないやうであるが、之は甚だ遺憾なることであるのみならず、むしろ不當なりと斷定し得ることである。

私人として一つの意見を持つてはゐるが、之は機會を見て述べさせて頂くことにして、偶々本年五月にナチスの統一的保姆養成所の教案が、ナチス教員聯盟の機關紙である雜誌「キンダーガルテン」に發表され、これが大いに他山の石となるものと信じたる故にここに御紹介申上げる次第である。

(一) 養成の意義と目標

國家社會主義は斷々乎として獨逸の家庭 Familie の強化を要求すると共に、各家庭をして有爲なる教育所たらしむることを努力する。兒童が晝間託される場所 Kindertagesstätte (幼稚園、託童所、兒童晝間ハイム Kindertagesheim) はこの家庭による教育を必要の限り、可能なる限り、補足し援助し代理する。就學兒童を預る託童所及び放課後の就學兒童を預る兒童晝間ハイムはその他に學校の課業に就いて家庭 Haus を代理し、以て學校を援助す。

保姆は兒童が晝間託される場所及び寄宿制ハイムに於て、又は家庭に於ける補佐役乃至母親の代理たる點に於て、職業的教育者である。

保母はその委ねられたる兒童に對し、及びその職場たる兒童ハイム及び家庭に對し、全力を盡すべきものである。保母はその役割を、兒童に對する奉仕としてのみならず、同時に又家庭及び國民に對する奉仕として把握せねばならぬ。

凡て保母は將來に於ては又學童保母^{ホルトホフ} *Hortnerin* としても教育される。特殊の學童保母養成は廢止される。それ故學童保母たる名稱は無用のものとなる。

婦人學校、フレーベルゼミナール、その他は、それ等が保母養成機關なる限り爾今は凡て保母學校 *Kindergarten-schule* なる名稱を用ひる。

保母學校の最終目標は何等かの意味での人道主義的、市民的自由主義的、マルクス主義的意義に於ける社會教育的なる教育者及び助手の養成ではなくて、專一に國家社會主義的なる獨逸的なる國民母性性 *Volksmütterlichkeit* への教育である。

現今に於ても尙ほ未だ幼稚園保母、學童保母、ゼミナールに於て至る所に殘存し續けてゐる處の過去の時代の、又時代遅れの世界觀たる所謂「社會的教育學」の代りに、一つの根本から又凡ゆる個々の點に至るまで飽くまで社會主義的にして同時に國民主義的なる協同體促進の教育學 *Pädagogik der Gemeinschaftshilfe* が登場せねばならぬ。即ち國家社會主義運動の精神から生れたる國民協同體促進 *Volksgemeinschaftshilfe* 及び國民協同體教育がそれである。

(II) 前提條件ニ豫備教育

最低年齢十六歳六ヶ月。保母學校へ入學を志願する資格あるは原則として、國民學校(註八ヶ年制の小學校)を終了したる健康なる獨逸少女にして、純粹にアーリヤ種族であり、且つ獨逸少女團(註ナチスの前衛たるヒットラー少年團の女子部)——出来るだけその班長として——に於て訓練を経たる者とする。志願者が國民學校選抜學級又は上層學校の三ヶ年を修了し

たる者たるこゝが望ましい。

家政學年の終了が入學の條件となる。この家政學年が未だ設置されざる間は、適當なる學校に於ける、又は出来るだけ子供の多い、出来るだけ農村的な家庭に於ける、少くとも一ケ年の家政的養護の仕事が入學の條件となる。勞働奉仕（註、ナチス男女青年に課せられたる國家奉仕）は名譽奉仕である。故に勞働奉仕完了は家政的奉仕として看做すことを得ぬ。幼稚園保姆たらんこする少女が十七歳を以て勞働奉仕に従事し得て、その結果少女が保姆養成教育を受ける以前にこの奉仕を完了するやう、努力さるべきである。

(III) 選 拔

各志願者は師範大學又は工科教員養成所への入學の際と同じ選抜方法で且つ國家監督の下での選抜手續を受けねばならぬ。提出すべきものは自筆の履歴書・寫眞・卒業證明書・學校長並びに獨逸少女團指導部による保姆職に對する適性の判定、健康證明書・自由泳法證明書。提出された書類から明瞭に推定される性格的政治的缺陷に基いて入學拒否することは差支へない。學業の成績はこの選抜に於ては特に重點を置くものではないが、最後の判定に際してはそれも顧慮される。（特に獨逸語、體操、音樂の成績）

選拔は次の條項に據り行はる。

- 1、責任的な選拔委員長による入念なる口頭試問、及びそれとは別個に性格學的鑑賞者との第二の入念なる口頭試問

- 2、幼兒及び學童の實際的取扱ひ方の試験若干

(a) 若干の遊戲及び諸種の作業的活動が自由選擇に供される(又運動遊戲及びそれに類するもの)

(b) 物語又は童話の話し方(簡単な準備の後)、及びそれに関して兒童との簡単な對話

3、獨逸語

(a) 朗讀

詩の朗讀(發音と語感的能力を判定す)

(b) 言葉の文章的驅使力(純粹の能力試問)

(一) 書取 II 日常語の語彙、句讀法の基本的規則(特に難澁ならざること)

(二) 作文 II 短き敘事文

4、體操試驗

5、音樂的資質の試驗

6、作業的創作の試驗(板紙細工、木工細工、廢物利用の製作)

7、圖畫的能力

8、女性的手仕事

(IV) 養成機關

保姆の養成教育は二ヶ年とし、國家試験を以て終結する。二ヶ年のこの養成コースの短縮的終結は如何なる場合にも許されぬ。即ち二ヶ年の養成教育は教育的見地からも授業的見地からも一つの統體を形成するものであり、學級協同體、

Klassengemeinschaft による生徒の陶冶こそ養成コースを通じて終始一貫して緊要なる故である。

(V) 養成教育

保姆の養成教育を理論的實際的の授業を幾分の自宅宿題に限定してゐた從來の思想は打破せねばならぬ。養成教育には次のことが不可分に屬してゐる。

(a) 獨逸少女團としての活動の繼續。この活動は勿論大體に於て限られたる範圍内でなされるであらうが、然し特に教育者の方面が重視されるであらう。かくてこそ養成教育を獨逸少女團活動と交互に促進される。

(b) 僚友隊教育 Kameradschaftserziehung (註ナチス獨逸はヒットラー少年團に於ても、獨逸少女團に於ても、勞働奉仕に於ても協同生活團體訓練のために數十名宛一單位の隊を作りこれを僚友隊と名付けてゐる) による教育者を造る教育、從つて女生徒相互間の勞作協同體 Arbeitsgemeinschaft 及び生活協同體 Lebensgemeinschaft を基底とする教育。

(一) 僚友隊教育

學校寄宿舎・女生徒集會所・學校野營に於る、又學校旅行・祝祭・行軍・に際しての授業外の協同體教育は、獨逸少女團及び勞働奉仕が目指してゐる一般的な國家社會主義的なる正強化に限定されてはならぬ。むしろこの協同體教育は「教育者を造る自己陶冶と協同體教育」なる特別の使命を持つ。

將來の職業教育者たるものは特別の意義を生ずる。養成中の保姆の協同體生活は彼女等が將來教育者として奉仕すべき價値に向つて合目的に全力を以て方向付けられねばならぬ。

この場合國民性涵養、國民性的勞作、特に家庭・幼稚園・託董所に於ての國民性涵養、國民性的勞作と云ふ大なる課題が指導的である、それより進んで兒童を委ねたる両親との接觸に於ける保姆の國民教育者の課題。最後に獨逸少女團・ナチス婦人聯盟・ナチス國民福祉團・市町村・殊に農業町村に於ける將來の協力活動に資するための國民性涵養、國民性的勞作への關與。

この目的のために各學級はその養成教育の全期間を通して、嚴密に組織立てられたる僚友隊に區分されねばならぬ。この僚友隊の指導は學級主任との打合せにより、一方獨逸少女團乃至勞働奉仕に於て特に推獎信認され、他方同時にその職業に於て將來最善をなすべきことが確實なる生徒に託される、教員はこの僚友隊長と密接に協力すべきことが命ぜられる。

この僚友隊生活の核心をなすものは、協同の身體的鍛鍊、音樂的實踐、就中國家社會主義的運動の諸歌材・國民歌・童謡の修得、童話、家庭的談話等でなければならぬ。唱歌協同研究、談話協同研究、素人劇研究會はその協同體教育、僚友隊教育の意義に於ては比類なく高く評價されるべきである。更にそれ等と授業との適當なる連絡の下に、職業教育についての精神的協同體が加はる。學校寄宿舎又は僚友隊寮舎が存在するならば、その協同體生活は出来るだけ同一僚友隊へ夫々一團となるやうに編成する。若しも學級又は全學校が旅行をなす場合には、就中、若しも學校が一つの固有なる寮舎 Lager を施設する場合にも、上と同一のことが妥當する、かゝる固有な寮舎こそは、その簡易的自然的協同體生活によつて、又その心情的精神的團結によつて、又自明なる秩序と訓練によつて、人格教育と知識教育、特にその融合、即ち學校と生活の融合に對して根本的な價值を有するものである。教員團も亦、生徒と共にするかゝる生活協同體によつて利する處多いであらう。

授業時間に於ける教授は、屢々根本目標を示すべき國民性財 Volkstumsüter を單に知悉せしむるのみで、その國民性財が心情及び意志の中に根を張ることなく、又個々の女生徒の心奥へ浸透し、彼女等を感じせしめ、實行にまで燃焼せしめることのないものがある。これらの缺點の克服は、たゞこの國民性財を生活に即して熟知し、生活に即して國民性財と接合する時にのみ到達せられる。僚友隊生活はかゝる價值を女生徒協同體自體内で實現せしめんとする熱烈なる意志から

支持され激勵されてあらねばならぬ。國民性財は唯に體驗、即ち「意識上」を充實するのみならず、又心魂の意識下の奥所までも浸徹せねばならぬ。若し我々がこの價値に通曉してゐるだけなら、若し我々がこの價値について記述するだけなら、若し我々がその價値を信奉するを承認するこそが時代に即したこそだを斷定するだけなら、それは不満足の極みである。重要なことは自己の心魂の奥所からの眞實の信念であり、内面的人格的必然性からの眞實の信念である。かゝる價値に對しての單なる知識は、たゞそれが獨逸人に關する民族學、國民學、心情學に於ての最高權威的學說であらうとも、若し女生徒の生活がこの價値の心からなる肯定から營まれてゐるものでない限りは、教育的仕事に對しては一文の價値もないものである。女生徒の生活の肉體的精神的的心情的全體がこの國民性價値から統一的に形成されなければならぬ。かくてこそ最後には學校を生活の（從つて將來に於ける職業を生活の不幸なる）乖離が克服される。

この價値を志向する生活の實踐躬行が模範として生徒に示されることにより、又、その指導者が單に言葉を以てこの價値の遵奉を説くのみでなく全心全意この價値信奉に基いて行動し、この價値の實現のために身も魂も打込んで當り、そのためには獻身犠牲に喜んで應ずる者であることによつて、初めて、與へられる授業が一番早く一番確實に眞實の生活力に成るのである。たゞ模範的に躬行される生活のみが他の者に對しても、それと同じ生活を造り出す。保姆養成の過程に於ける僚友隊教育に對してこそ、に提示されたる要求は、保姆が將來その職業並に生活に於て、自己の力によつて指導せねばならぬ處の凡ゆる協同體に對しても、その趣旨が妥當する。

原則として上と同じの要求が又各々の保姆學校の教員團協同體に對しても課せられるべきである。教員團は、少くとも生徒の僚友隊に希求されると同じ訓練態度を持てる確固たる教育者僚友隊にまで一致結合すべきである。それが教員團の責任である。社會教育的教育所（即ち保姆學校）は教員體並に生徒體が相共に確固たる國家奉仕團的に形成せられたる僚

友隊になつてこそ、初めて國家社會主義的國家及び國民の構造に真正に適合し、且つ國家及び國民の構成に適當する處の團體となるであらう。教へる者と學ぶ者との、この兩者の僚友隊的の有機的統體こそは新しき國家に於ける社會教育所の、竝に實際に各學校又は大學の教育的根本構造をなすものである。

(二) 入門的宿營 Einführungslager

この養成教育は如何なる場合にも學校授業を以て始まるべきでなく適當なる地方に於ける一週間の宿營 Lager を以て始まるべきである。こゝで新入生徒は彼等の職業に對する最初の方向付けを體驗し、學校及びその學年間の研究及び生活協同體の中へ疾風の如くに成長して行く。彼等はこゝで二ヶ年の教育の意義及び過程に對する概觀を、第一學年前期に於ける研究の分類に對する概觀を得る。

既に到達せるもの、到達途上にあるもの、最終學期即ち第二學年後期に於てはまゝめて完成せしむる目的を以て、およそ第二學年前期の終りに當り、更に少くとも一週間の宿營が營まれねばならぬ。

(三) 理論と實際

幼稚園學及び託重所學は屢々二重に、即ち(一)教育學の領域に於て、(二)職業知識 Berufskunde の領域に於て授けられた。不必要な反復及び矛盾がこの際頻りであつた。時折に保姆はさながら挽回の間でのやうに理論と實際との間ですり潰された。かゝる周知の缺點は除去されねばならぬ。保姆學校の首腦部は、將來は理論と實際とを最初から、又徹頭徹尾相互に一致さすべき責任を持つ。

(四) 教材の分裂

全體に對する意義を消失したる自由主義の四分五裂的科學企業 Wissenschaftsbetrieb は、全體性云々云々に就いて

はむしろ男性よりも、より高度の必要性を持つ處の獨逸女性の教育所に對しても食ひ込んでゐた。今日行はれてゐる多くの教案は、無數の特殊領域への専門家的・智能家的・専門利己主義的分裂から支配されてゐる。それに應じて、一つの學級に無數の教員が入替り、立替り入つて來る。このことは就中、生徒と教員との親密度の不足を結果する。かくて有數なる保姆學校に於ても今日尙、一週に十六個までの種々異なる教育課目を持つた教案が存在してゐる。その結果、毎週一時間のもの七課と、その他幾分時間數の多いもの數課と云つた全く個別化された課目群となつてゐる。後に掲げる教案は、この各種の課目を強く相聯繫せしむることを試みてゐる。一人宛種々の専門を持つてゐたものをかく合併せしむることは、その實行に際しては屢々困難に遭遇するであらう。この分離せる諸課目は然し授業と教育との國家社會主義的統一化、統體化の決定的重要さのもことでは、従前よりも一層強力に除去されねばならぬ。この缺陷の根源は、理論的・實際的の兩方面に於て完全に完成せる教員力が不足だつたことに基因する。

(五) 學校と僚友隊教育

自宅宿題は出来るだけ、その遂行が學級の學校外協同體生活を豊富ならしめるやうに調整さるべきである。協同的に解決さるべき課題が特に選ばれるべきである。その他の場合は、宿題は生徒の協同體教育、人格教育たる僚友隊生活のために決定的に制限さるべきである。

(以下次號)